

令和 5 年度 第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時 令和 6 年 2 月 2 日 (金) 14:00～16:45

場 所 管理棟 3 階大会議室

構 成 員 36 名 (出席者 25 名)

(出席者)

1 号委員 (琉大病院長)	大屋 祐輔
2 号委員 (県立中部病院長)	玉城 和光
3 号委員 (北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
4 号委員 (沖縄県医師会長)	安里 哲好 (代理出席: 玉城 研太郎)
5 号委員 (沖縄県歯科医師会長)	米須 敦子 (代理出席: 渡慶次 彰)
6 号委員 (沖縄県薬剤師会長)	前濱 朋子 (代理出席: 阿部 義則)
7 号委員 (沖縄県看護協会会長)	平良 孝美
10 号委員 (琉大がんセンター長)	増田 昌人
12 号委員 (琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生 (代理出席: 有賀 拓郎)
13 号委員 (琉大薬剤部長)	中村 克徳
14 号委員 (琉大看護部長)	眞栄城 智子
15 号委員 (琉大事務部長)	加藤 善一
16 号委員 (那覇市立病院副院長)	宮里 浩
(那覇市立病院がん看護専門看護師)	東恩納 貴子
17 号委員 (県立宮古病院外科部長)	西原 政好
(県立八重山病院外科医師)	松村 敏信
(県立八重山病院副院長)	石田 浩子
(北部地区医師会病院副院長兼看護部長)	柴山 順子
(北部地区医師会病院副看護部長)	上地 佳代
18 号委員 (やいまゆんたく会(八重山のがん患者を支援する会)会長)	田盛 亜紀子
(サバイバーナースの会「ピアナース」代表)	上原 弘美
19 号委員 (一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
(琉球新報取締役編集局長)	島 洋子
20 号委員 (琉大病院病理部長)	和田 直樹

(欠席者)

2 号委員 (那覇市立病院長)	外間 浩
3 号委員 (県立宮古病院長)	岸本 信三
(県立八重山病院長)	和氣 亨
9 号委員 (沖縄県保健医療部長)	糸数 公
11 号委員 (琉大がんセンター運営委員会委員長)	鈴木 幹男
16 号委員 (県立中部病院副院長)	本仲 寛美
(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇
17 号委員 (県立宮古病院副院長)	新崎 博美
18 号委員 (NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさあ代表)	与儀 淑恵
(パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト)	島袋 百代
20 号委員 (県立中部病院放射線科副部長)	戸板 孝文

(陪席者)

緩和ケア・在宅医療部会	笹良 剛史
小児・AYA部会	浜田 聡
離島へき地部会	赤松 道成
情報提供・相談支援部会	仲宗根 恵美
沖縄県保健医療部健康長寿課	新垣 真太郎

(以下、傍聴申込)

資料確認等

1. 令和5年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(1月15日開催)
2. 令和5年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(11月10日開催)
3. 令和5年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事録(11月10日開催)
4. 協議会・幹事会・部会委員について
5. 令和6年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員から資料及び議事要旨等について確認があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員から資料6に基づき、第4期都道府県がん対策推進計画におけるロジックモデルの活用状況について報告があった。

(主な質疑応答)

Q.大屋議長:ロジックモデルの活用状況について、都道府県ごとに随分違うが、埴岡先生のグループ等で要因分析や類型を分けたり等ポイントはあるか。

A.埴岡委員:ロジックモデル導入で上手く行くのは、患者会からの要望でスイッチが入る場合もあれば、行政担当者によってスイッチが入る場合等様々な要因がある。スイッチが入った後はいくつかの条件が必要で、良い素案を作るといふことと、各部署に分かれているものを取り纏めるために雛形をつくり、上司から方針がしっかり示されることにより担当者が動きやすくなる、その素案を基に協議が部会で行われて地域の前向きな推進力が生まれてくる等のパターンがある。

2. 天野委員報告

天野委員から資料7に基づき、ゲノム医療推進法に基づく基本計画の検討に係るワーキンググループが立ち上がったことについて報告があった。

(主な質疑応答)

Q.玉城先生:いろんな法律がごちゃごちゃしているが、今後整理されて一つの法律ができる認識でよろしいのでしょうか。

A.天野委員:ゲノム医療、ゲノム研究の包括的な法律はなかったもので、今回ゲノム医療推進法ができた。今後この法律に基づき対応していくことになるだろう。しかし、差別の部分に関して罰則がない等整理されてない部分もあるため、今後そういった部分も検討されていくと思われる。そもそも政府の中でこういった部分の詳細な議論も行われていない状況であるため、今後議論が必要だとなれば検討されていくと思われる。

審議事項

1. 第2回医療者調査について

増田委員から資料8に基づき、第2回医療者調査について説明があった。

(主な質疑応答)

Q.島委員 :当該調査について、何人程度の医療関係者から回答を得て、それをどう反映させていくのか目標のようなものはあるのか。

A.増田委員:回答するかどうかは任意だが、半分くらいの方には回答いただきたい。がんに関わっている方からの回答になるので、半分の500人くらいから回答いただくとありがたい。

2. 次年度の協議会活動の重点事項について

増田委員から資料9に基づき、次年度の協議会活動の重点事項について説明があった。

大屋議長から、沖縄県のがん死亡の増加を考えると、特に大腸がんへの取組が重要ではないか、その中でも早期発見、早期治療、治療の継続がまず取り組まなければならない内容ではないかとの意見があった。その他に、徐々に妊孕性温存療法が広がってきているので、これを確実に広げていきたいとの意見があった。

玉城先生から、今後の長高齢者社会を見据えた医療ニーズの高まり、加えて、医療資源の減少に関してがん医療においても取り組まなければならないとの意見があった。また、医療の効率化を考える際には、どうしてもデジタル化や、共通のプラットフォームの中で医療を効率化することが必要であるとの意見があった。

西原委員から、がん教育を中学、高校から授業の一環としてやっていかなければならない時期にきているのではとの意見があった。

埴岡委員から、重点事項を検討するにあたり、①ロジックモデル上のアウトカムが悪い項目、②効果、インパクトがありそうな項目、③効果は不明だが、構成上の問題、倫理的問題、ニーズとして強いものがある項目、④イノベティブなもので戦略的に取り組む項目の4つの視点から事項をあげれば良いのではないかとの意見があった。

報告事項

1. 「第4次沖縄県がん対策推進計画」の策定状況について

沖縄県保健医療部健康長寿課の新垣さんから、第4次沖縄県がん対策推進計画の策定状況について報告があった。

2. 沖縄県がん診療連携協議会の主催、共催、後援名義の使用承諾に関する内規の改訂について

増田委員から資料11に基づき、沖縄県がん診療連携協議会の主催、共催、後援名義の使用承諾に関する内規の改訂について報告があった。

3. 「沖縄県がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」の公開について

増田委員から資料12に基づき、「沖縄県がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」の公開について報告があった。

4. 患者会よりの報告

(1) 与儀委員報告

与儀委員が欠席のため、大屋議長から資料13-1に基づき、NPO乳がん患者の会ぴんく・ばんさあの活動について報告があった。

(2) 田盛委員報告

田盛委員から資料13-2に基づき、やいまゆんたく会（八重山のがん患者を支援する会）の活動について報告があった。

(3) 上原委員報告

上原委員から資料13-3に基づき、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023おきなわ」の活動について報告があった。

5. 患者体験調査について

増田委員から資料14に基づき、患者体験調査について報告があった。

6. 各拠点病院が取り組んでいるがん対策について（10月～12月の進捗状況）

資料15に基づき、増田委員、柴山委員、玉城委員、宮里委員、西原委員、松村委員から各拠点病院が取り組む予定のがん対策について報告があった。

7. アピアランス支援モデル事業について

増田委員から資料16に基づき、アピアランス支援モデル事業について報告があった。

8. 大腸がん死激減プロジェクト連絡会議について

増田委員から資料17に基づき、大腸がん死激減プロジェクトについて報告があった。

(以下については、紙面報告となった)

9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

11. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

- (1) 全国がん登録及び院内がん登録に係る課題と対応方針 中間とりまとめ 2023年10月
- (2) 今後のがん研究のあり方に関する有識者会議 報告書 2023年10月
- (3) 第25回厚生科学審議会がん登録部会
- (4) 第40回がん検診のあり方に関する検討会
- (5) 第15回HTLV-1対策推進協議会
- (6) 第5回がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ

部会報告事項

1. 医療部会

有賀副部会長から資料21に基づき、医療部会の活動・取組状況について報告があった。

2. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良部会長から資料22に基づき、緩和ケア・在宅医療部会の活動・取組状況について報告があった。

3. 小児・AYA部会

浜田部会長から資料23に基づき、小児・AYA部会の活動・取組状況について報告があった。

4. 離島・へき地部会

赤松部会長から資料24に基づき、離島・へき地部会の活動・取組状況について報告があった。

5. 情報提供・相談支援部会

仲宗根部会長から資料25に基づき、情報提供・相談支援部会の活動・取組状況について報告があった。

6. ベンチマーク部会

増田部会長から資料26に基づき、ベンチマーク部会の活動・取組状況について報告があった。

以上